

2016年度 学校評価結果(自己評価)

東海大学付属甲府高等学校

5～1は教員評価(5よい 4おおむねよい 3どちらともいえない 2やや不十分 1不十分)

分野	重点目標	成果と課題	評価	改善策
学校運営		学校運営方針や教育目標は、概ね全教職員の共通認識が図られている。また、教職員、生徒、保護者とも学校の特色をよく理解している。学校施設・設備については、生徒に十分な満足が得られていない結果となった。	3.6	学校運営方針を全職員が更に理解共有し、力を合わせ、教育活動を行う。また、組織的に改善に向けた取り組みができるよう、情報の共有を進めていく。学校施設・設備については、中長期計画を策定し、優先順位をつけて整備する必要がある。
教育目標の推進	「生徒が主役～あなたの生きる力を育てます」のスローガンを推進する	主役である生徒が活躍する舞台である学校に愛着が持てる指導を行い、生徒・保護者とも概ね誇りや愛着を持つことができた。また、クラス・学校の一員としての役割も果たすことができた。生徒の悩みや問題などにもほぼ適切に対応することができ、人間関係も良好で楽しい学校生活を送っている。	3.7	主役である生徒が活躍する舞台である学校が楽しく、誇りや愛着が持てるよう、クラス・部活など様々な場面で生徒に寄り添う指導を行い、生徒一人ひとりの輝きが一層増すように努める。
学習指導	基礎学力を定着させる	1年生進学クラスでは、数学における習熟度別授業の実施ができた。家庭学習の習慣化を目指したが定期試験前の学習に留まってしまい習慣化にまで引き上げる対策をとらなければならない。研究授業を実施し、スキルアップを図ることはできた。しかし、実施時期を検討する必要がある。朝読書の徹底を図り、特設クラス以外は時間の確保をした。	3.3	習熟度別授業においては、次年度1年生に英語にも広げる。特設クラスでの実施も検討し、学力を伸ばす方を講じなければならない。教科間の連携を図り宿題を課し家庭学習の習慣をつけさせる。研究授業は年次計画を立て、実施時期をあらかじめ決めて行う。また、研究テーマに沿った形で行うように努める。
生活指導	生活指導を徹底させる	校則を守らせる指導をしており、生徒はほぼ守れたとの結果だが、昨年よりも校則違反などで指導を受ける生徒が増え、携帯電話の使用マナー違反者も数多く存在した。通学・交通マナーについてもほぼ守れたとの結果だが、まだ苦情連絡が入ることがある。一方で、挨拶のできる生徒は増える傾向にある。	3.8	挨拶・身だしなみ(頭髪・服装)については、声掛け運動やポスターによる啓蒙をこれからも続けていきたい。学年や学級担任と報告・連絡・相談をしっかりと学校全体で生徒指導に当たっていき、見て見ぬふりをしない指導を徹底していきたい。
特別活動 (委員会など)	新しい教育活動に取り組む	メディアセンターを中心として、図書室利用の推進を図った。昨年度よりも大幅に利用者数は増加したが、結果にもあるとおり図書室利用がまだまだ少ない現状である。生徒会で昼休みの放送や生徒会新聞の発行、挨拶運動などの取り組みをはじめ活性化を図った。全校生徒が生徒会の一員である意識を持ち、生徒会活動に積極的に参加することで更なる活性、発展を図りたい。学校行事・生徒会行事へ積極的に取り組み、生徒・保護者ともほぼ満足のいく結果となった。	3.5	図書室での催しを企画するなど、まず図書室に足が向くような取り組みが必要である。多くの生徒に生徒会活動に参加している意識を持たせるために役割を分担して与えるなどの環境をつくることで、活性化を図る。特に委員会活動の担当教員には、活動を活発にするよう働きかける。
特別活動 (部活動)	部活動を充実させる	教員は熱心に部活動の指導を行い、生徒も一生懸命に取り組んでいる。保護者も試合・大会などの応援を積極的に行っており、一体感を持つことができた。	4.1	東海大学が学園をあげて取り組んでいる「文武両道」をより高いレベルで具現化できるよう、練習環境の整備を行い、更に推進を図っていく。
進路指導	進路指導を充実させ、付属推薦の達成値を実現させる	1・2年生対象に東海大学の学部学科の改組に伴うキャリアガイダンスを実施した。2・3年対象の小論文講座を実施した。参加者は少なかったが、満足しうる講座であったようだ。7月に就職ガイダンス、模擬面接を実施したが、もう少し早い時期に数回行う必要がある。家庭学習としてマナトレを実施したが、9月頃より実施が困難になりとん挫してしまった。	3.5	1年次に進路ガイダンスを実施し大学進学に重点を置いた指導を行う。また、LHRを利用し自己分析・適性発見プログラムを実施する。5月より就職ガイダンスを行いより深い面接スキルを身につける。家庭学習の推進と基礎学力の向上を目的に家庭学習ノートを新設し実施する。
地域連携 校友会活動	保護者や関係者との協力関係を推進する	保護者や関係者への情報発信に努め、協力関係の構築を図った。また、外部評価委員会を立ち上げ、保護者・地域の方・校友会関係者からの意見を聞くことができた。地域の清掃活動や雪かきなどに取り組み、地域社会とのつながりを大切にしたい。	4.0	校友会との連携を更に一層強化するとともに、地域社会との信頼関係を構築し、学校・校友会・地域社会が一体となり学校運営ができるよう努める。